



水源地域活性化推進会議の 第二回全体会議を開催しました

昨年度に設置された5つの作業部会の代表から、これまでの活動、当面進めていきたい取組についての報告が行われました

【各部会の活動報告】

■方針1部会：脊振山系の豊かな自然環境の保全、水資源の活用

- ・森林の保全・管理に向けて、「森林をつくろう」、「有明海漁協」、「脊振を愛する会」等の作業部会メンバーが中心となって、植える・育てる・切る・使うのサイクルを地域一体で進める
- ・里山の環境や景観保全のために地域の魅力の発掘、耕作放棄地の活用などを考えていく

■方針2部会：歴史資源や水文化を活かしたまちづくり

- ・神崎市にある貴重な歴史・文化資源の魅力を伝え、つなげて活性化に活かしていく
- ・城原川にある野越しなどの治水の歴史と城原川ダム事業を関連づけて紹介する
- ・要望事項：広滝発電所の交流拠点としての活用、三瀬神埼線および水源地域周辺の市道の整備・改良、付替県道区間へのサクラ植栽、水没地域内農地の活用方策検討など

■方針3部会：農・特産品のブランドづくり、新たな魅力の発掘・開発

- ・神崎市の特産品となる農産物や工芸品などの開発を大学、企業等の協力も仰ぎながら進める
- ・庭先集荷した農産物の販売やチャレンジファームの推進による生きがい就労、農業の担い手確保
- ・高取山公園の交流拠点化、城原川を水遊びができる場に再生

■方針4部会：住みたくなる街としての魅力化、教育環境の支援

- ・脊振の立地を生かした移住・定住促進に空き家を積極的に活用する（お試し移住、交流拠点化）
- ・農地付き空き家、遊休農地等を活用した市民農園開設などで関係・交流人口の拡大
- ・地域の協力に基づく体験学習の充実やオーガニック給食等による小中学校の魅力化

■方針5部会：活性化の活動や城原川事業の情報発信、上下流交流の推進

- ・各種まちづくりイベントへの参加・支援による交流の推進
- ・本推進会議のSNSアカウント立ち上げ（Instagram）による情報発信の開始

【委員からの意見】

- ・城原川に35か所ある堰（ゲート）の統廃合により下流クリークの水質改善を図ってほしい



開催日時	令和6年12月20日（金） 14:00～15:30	
開催場所	神崎市役所 3階大会議室	
出席者	委員	16名
	事務局	7名
	傍聴者	3名

活動内容はWEB
サイトでも配信中

▼神崎市水源地域活性化推進会議（神崎市）

www.city.kanzaki.saga.jp/main/16550.html

▼城原川ダムについて（国土交通省）

https://www.qsr.mlit.go.jp/saga/about/joubarudam/dam_keikaku.html

高取山公園
公式Instagram



推進会議
公式Instagram

